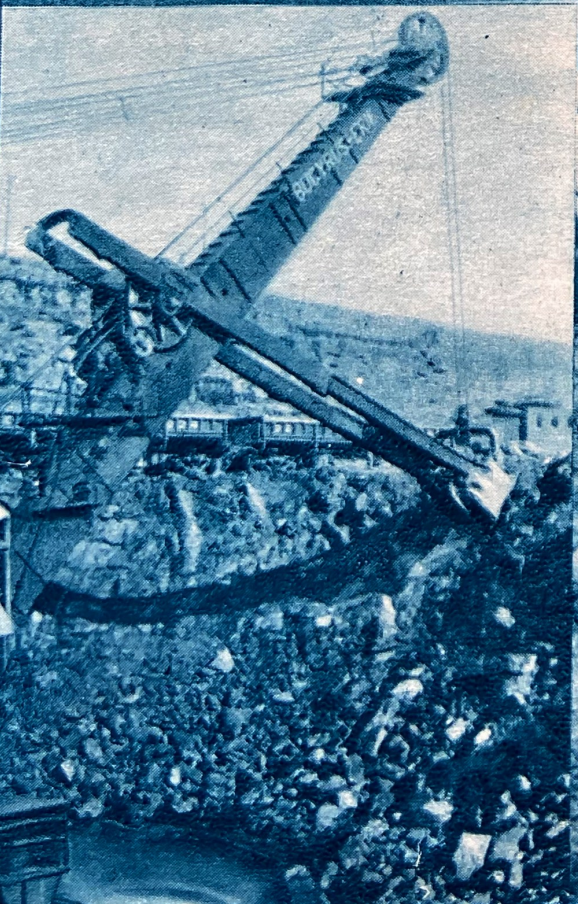
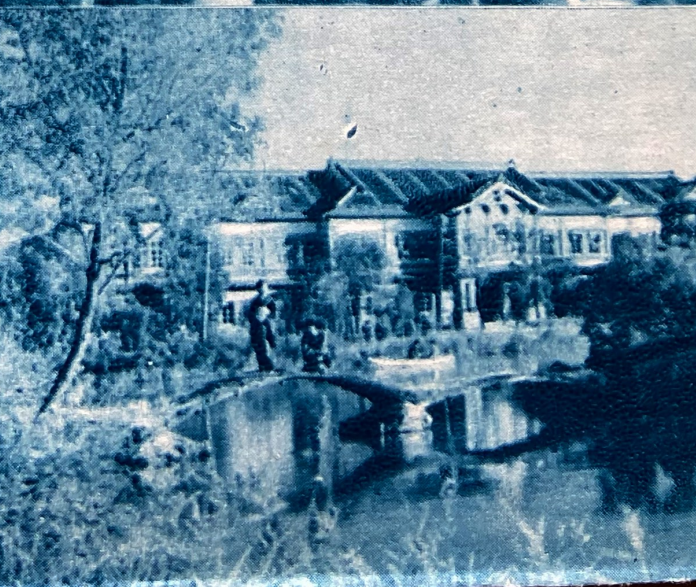
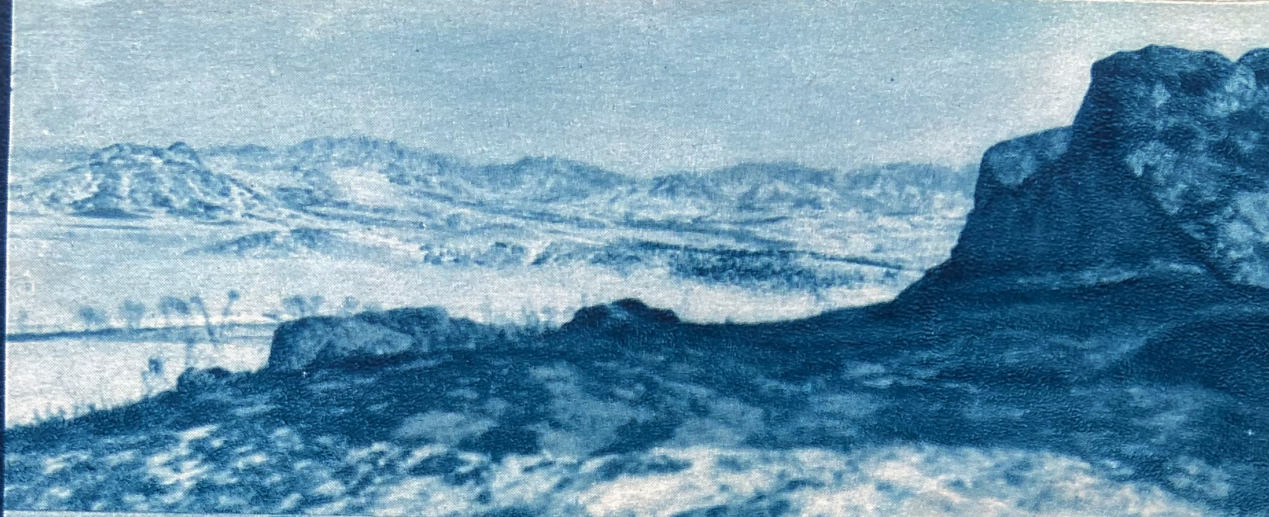
滿洲旅行の栞…

南滿洲鐵道株式會社

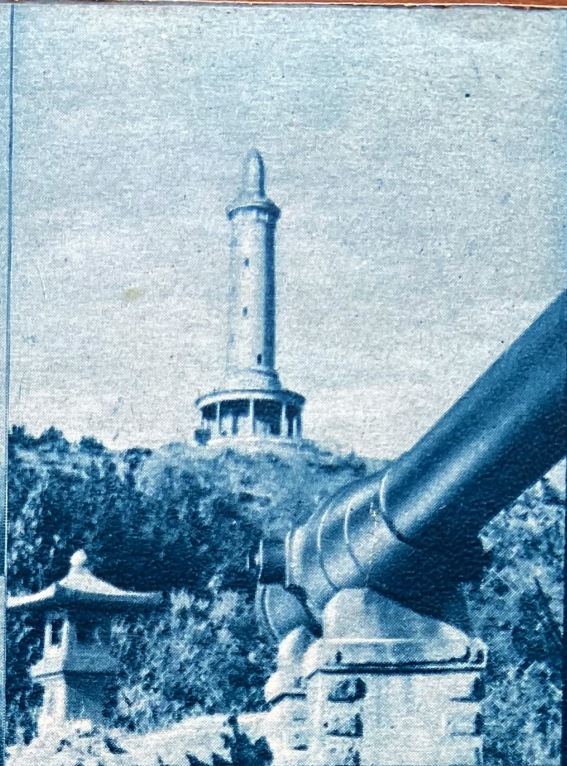
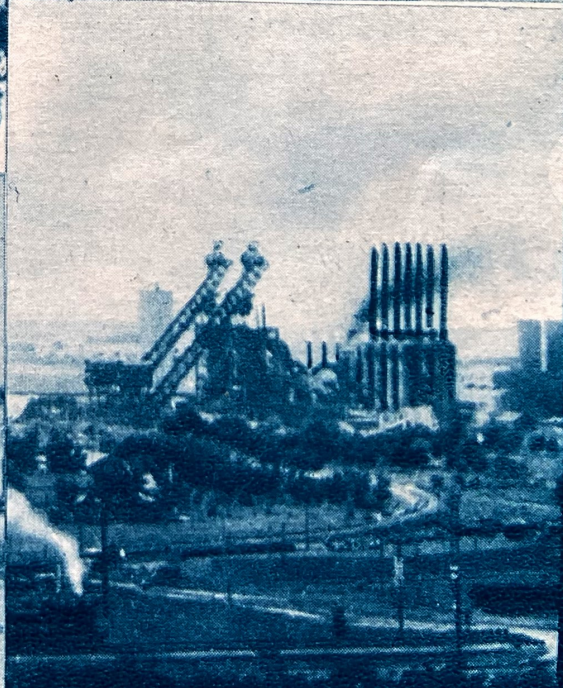
○ 秘境千山は奇勝絶景に富み五大禪寺二十三道觀の丹碧を配して幽韻靜閑、今尚浮世を絕した道士の生活を見る

○ 日露役に於ける乃木將軍の有名な詩「金州城外立斜陽」を想ふ

○ 大石橋の娘々祭は土俗的にも滿洲特異、胡藤花咲く五月、迷鎭山は數萬の婦人で埋まる

○ 平原のたゞ中に忘まれの様にひよつくりと溫泉脈が首をもたげた湯崗子溫泉は滿洲の代表的溫泉である

○ 新京は滿洲國國都。忠靈塔高く聳ゆるところ高らかに建設譜が奏でられてゐる

○ 炭都撫順はまた近代機械文化の粋を蒐めた工業都市で、露天掘の壯觀は世界無比。オイルセール工場も見落してはならない

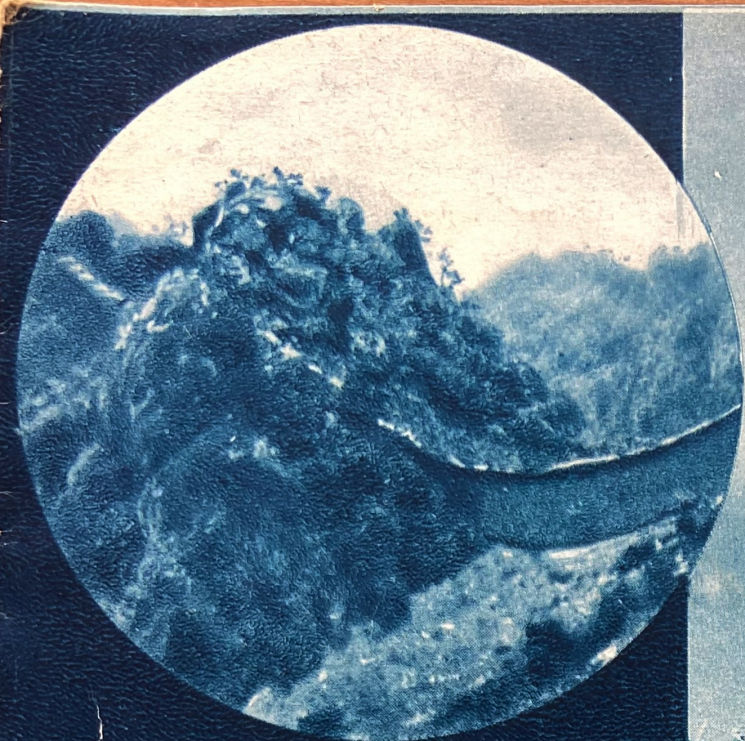
聖地旅順
十萬の戰骨かほる楢の花　桂月

躍進大滿洲の動脈を馳驅する陸の王者、流線型特急"あじあ"の雄姿

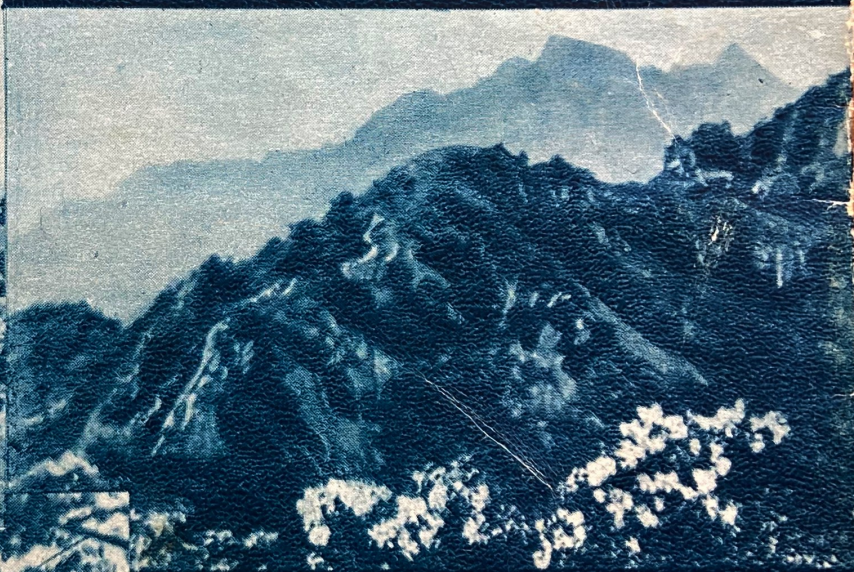
大連は滿洲國の大玄關。大廣場はビヂネスセンターとして市の中心、近代都市美の粋をなす

遼陽は古い歷史をもつた城市、往古の文化を物語る白塔は車窓に滿洲情緒をそそる

鐵帯龍首山は詩と傳説の山、奉天附近ハイキング好適地として、多くのハイカーを招く

鞍山は鐵の都。獨特の貧鑛處理法により銑鐵年產百萬噸を目指してゐる

奉天は交通、經濟、教育の中心地
滿洲國創建まで、古き首都としての歷史をもち、我にも亦尊き記念地

鳳凰山に並ぶ高麗山は最も峻險、高句麗時代の城址は今も尚往古の夢を物語る

山紫水明の安奉沿線には、到る處ハイキング好適地が求められ、滿洲情緒豊かなハイキングにハイカーの胸はおどる

鳳凰山は安奉線の名山、幾多の寺觀を山谿に布置し、花と紅葉に客を呼ぶ

滿洲の耶馬溪・釣魚臺は細河峽谷に沿ふ安奉線隨一の景勝

五龍背は奇峰五龍山を前にして、閑雅幽寂な溫泉郷

十字に開いて、鴨綠江節の唄枕となつた安東の鐵橋も、流す筏に變りはないが、今は開閉を停止して鮮滿をがつちり結んでゐる。附近鎭江山は櫻の名所

滿洲旅行の栞

（昭和十二年度版）

徑路

滿洲へ旅行するには左の徑路がある。

海路大連經由

（イ）大阪商船經由　殆んど連日神戸出帆、門司、大連に往復してゐる。五千乃至八千噸の大型汽船で愉快な旅行が續けられる。

（ロ）近海郵船經由　主として南九州地方の旅客のための航路で、月六回、鹿兒島、長崎と大連間を往復運航してゐる。

朝鮮經由

（イ）釜山經由　毎日朝、夕二回下關と釜山間に鐵道省直營の連絡船がある。釜山及び下關では急行列車に夫々接續する。

（ロ）北鮮經由　北日本汽船敦賀、淸津直航路（羅津、雄基寄港）は月六回、日本海汽船新潟雄基航路（羅津、淸津寄港）は月三回、何れも兩地間を往復運航してゐる。

飛行機に依る場合

毎日（月曜日を除く）東京、大連間を發着してゐる。途中着陸地は名古屋、大阪、福岡、蔚山、京城、平壤、新義州である。

尙天津、靑島及上海方面からは大連へ三日目毎に大連汽船の連絡船が就航してゐる。

旅行季節

春—四月中旬から五月下旬の花期、六月の新綠の候を最も良しとする。

夏—七月下旬から八月中旬は所謂雨期であるが、大陸氣候の影響を受け雨量鮮く野も山も綠滴り、朝夕は涼風吹き來り極めて凌ぎ易い。

秋—九、十月は紅葉の季節で、春にも優る旅行の好季節である。

冬—滿洲の冬は、三寒四溫と云つて寒さが三日續けば、次に暖い日が四日續くといふやうに、自然に氣候が緩和されて居る。この時期は滿洲として一番活氣ある時で、農作物の出廻り盛んで又氷滑り、銃獵の好季節でもある。

服裝と携帶品

鐵道を離れてずつと奧地へ入る人は別として、鐵道沿線の主要都市を視察される旅行なれば、內地の旅行とさして選ぶ所なく、取立てゝ特別に携行を要するやうなものはない。なるべく輕快な服裝＝洋服の方が萬事に便利である。氣候が大陸的で、日中の酷暑期でも夜間は涼氣を覺へる事があるから腹卷、セータ類の用意があれば申分ない。雨の少い地方であるから洋傘を携行するよりレインコートの方が上記の理由からもよく、冬は厚手の外套を用意すればよい。

携帶品の證明

內地から携帶される寫眞機、望遠鏡等の高價品は歸路輸入品と看做され課稅される虞れがあるから、入國に際し左記の稅關箇所で携帶證明を受けて置く必要がある。

一、海路大連上陸の場合は神戸又は門司稅關で。
一、釜山上陸朝鮮經由の場合は安東驛內新義州稅關出張所で。
一、淸津、雄基上陸の場合は上三峯驛又は圖們驛內稅關出張所で。

通貨

通貨流通の種類は、日本貨幣、朝鮮銀行紙幣、滿洲國幣の三種である。滿洲國幣、邦貨は何れも等價に使用出來るから、兩替の必要はない。

歸路の兩替

滿洲貨幣は普通兩替店で兩替出來るが、大連驛第一ホーム國幣無料交換所、奉天、新京、圖們、上三峯驛構內賣店、安東驛ホーム構內賣店並大連埠頭、釜山棧橋朝鮮銀行出張所で等價無料兩替をしてゐるから、これを利用すればよい。また、朝鮮銀行紙幣も大連埠頭、釜山棧橋の同銀行出張所で旅客のため兩替の便を計つてゐる。

滿洲の鐵道

滿洲の鐵道は、南滿洲鐵道會社線（社線）と滿洲國々有鐵道線（國線）とに分れてゐるが、國線は滿洲國の委託をうけて滿鐵がその經營に當り、鐵道總局に依つて、全滿洲鐵道の一元的經營が行はれてゐる。

鐵道の運賃

邦貨、國幣の區別なく等價に收受されてゐるから兩替の必要はなく、何れで支拂ふも差支へない。

土產物と稅關

稅關では旅行に必要な手廻り品以外は課稅するのを原則としてゐる。安い、珍らしいで買つたが課稅されて高い土產になつた例は澤山ある。

旅客の携帶品は左の區分に依り稅關の檢査を受けねばならぬ。

（イ）大連から大阪商船定期船で門司、神戸に向ふ場合（船中で）此の反對の場合（神戸、又は門司稅關で）

（ロ）大連驛から關東州外に向ふ場合（大連驛で）託送手荷物は大連驛手小荷物檢査所で、携帶品中課稅品ある場合は同檢査所に任意申告を必要とする。此の反對の場合（普蘭店以南の列車中で）

（ハ）(1) 安東驛經由の場合（安東驛で）携帶品は車內で、託送手荷物は驛ホーム檢査所に於て
(2) 京圖線經由の場合（圖們驛で）、京圖線及朝開線經由の場合（上三峯驛で）、携帶品は車中で、託送手荷物は驛ホーム檢査所で

滿洲から內地へ行く場合、毛皮、寫眞機、麻雀、雙眼鏡、寶石類等の奢侈品は輸入地市價の十割の輸入稅を課せられる。尙骨牌類は本關稅の外麻雀は一組に付金三圓、トランプ類は一組に付金五〇錢の骨牌稅が課せられる。

一、左記の煙草は自用と認められたる場合に限り記載數量だけは免稅されてゐる、尙煙草は檢査の證印を必ず受けねばならぬ。

煙草｛葉卷 五十本／紙卷 百本／刻 三十匁｝一人に付何れか一種に限る但し葉卷紙卷兩方の場合は各半量とす

左記は何れも稅關吏の認定であるから、之を定量として主張することが出來ないが此の程度ならば先づ免稅として許されてゐる。

ロシヤ飴は……三 罐 位迄
砂糖、菓子類……合せて十斤位迄
支那の織物｛絹紬一反／絹緞十尺／緞子十尺｝一人に付何れか一品に限る
支那素麵……十 斤 迄
甘 栗……七百匁位迄

一、大連は自由港であるから舶來品は內地より安い筈であるが、必ずしもそうではない場合もあるから內地の相場と比較して買求められることが安全である。

旅館

滿洲內鐵道沿線主要地各旅館は大體茶代廢止が實行され（社線沿線各旅館は茶代絕對廢止）旅行者間に好評を博してゐる。女中その他使用人への心付は宿料支拂額の一割乃至二割をやれば結構である。

○單獨宿泊料

洋式ホテル……鐵道總局直營ヤマトホテル及その他の洋式ホテルには何れも歐・米兩式があり、宿料は一人室一日凡そ金三圓以上、食事料は凡そ朝一圓五〇錢、晝二圓、晚二圓五〇錢である。

和式旅館……一泊二食付、凡そ一等六圓以上、二等五圓、三等四圓である。

○團體宿泊料

社線、國線兩沿線とも、それぞれ旅館協定團體宿泊料が定められてゐるが、社線沿線は關東州內と、州外即ち滿洲國內と、料金に多少の開きがあり、國線沿線でも土地によつて特種料金が定められてゐる。尙缺食の場合の宿泊料も協定されてゐる。

社線沿線旅館協定團體宿泊料及食事料金

滿洲國內

團體別＼料金		宿泊基本料金	朝食	晝食	夕食	辨當	摘要
學生・生徒	小學校	一泊三食 一・三〇	・三五	・四五	・五五	・三〇	握飯
	中等學校	一・九〇	・五五	・六五	・九〇	・四〇	二重折
	專門學校以上	二・五〇	・七五	・八五	一・一〇	・四五	同
青年團		一泊二食 二・五〇	・七五	・八五	一・三五	・五五	同
教育軍人團		三・〇〇	・九〇	一・一〇	一・六〇	・七〇	同
普通團體		三・八〇以上	一・一〇以上	一・六〇以上	二・二〇以上	・八〇以上	同

關東州內

前記料金より約一割內外減となつてゐる。

國有鐵道沿線の宿泊料は大體前表料金と大差ないが、哈爾濱、齊々哈爾、吉林、圖們は特種料金として約二・三〇錢增となつてゐる。

○鐵道總局直營ホテル

大 連……大連ヤマトホテル、星ケ浦ヤマトホテル
旅 順……旅順ヤマトホテル
奉 天……奉天ヤマトホテル
撫 順……筑 紫 館
新 京……新京ヤマトホテル
哈爾濱……哈爾濱ヤマトホテル
五龍背……五龍背溫泉
北 平……扶 桑 館
齊々哈爾……齊々哈爾鐵路ホテル
興 城……興城溫泉ホテル
壺盧島……壺盧島ホテル

○主要地著名旅館

大 連……遼東ホテル、花屋ホテル、天滿屋ホテル、ナニワホテル、春田旅館、東鄕旅館、東旅館、鎭西旅館、東洋ホテル、南滿ホテル、日本橋旅館、錦水ホテル、磐城ホテル、亞細亞ホテル、中央ホテル
旅 順……旅順ホテル、寶來館
大石橋……梅迺家旅館
營 口……淸 林 館
鞍 山……近江屋ホテル、扇屋旅館
遼 陽……遼塔ホテル
奉 天……瀋陽館、大星ホテル、大丸旅館、平和ホテル、マルナカホテル、溫泉ホテル
鐵 嶺……松花ホテル
開 原……二葉旅館
四平街……植半旅館、小松屋旅館
公主嶺……公主嶺ホテル、丸福旅館
新 京……國都ホテル、中央ホテル、新京旅館、滿蒙旅館、大丸新館、白石旅館、東亞ホテル、向陽ホテル、太平旅館、太陽ホテル、都ホテル、國華ホテル、常盤旅館、西村旅館、富士屋旅館、北滿ホテル、梅屋旅館
本溪湖……本溪湖ホテル
橋 頭……富田旅館
安 東……安東ホテル、富久壽美旅館、元寶館、滿洲旅館、大和旅館、安東館、日ノ出旅館
大虎山……大和屋、大虎山ホテル
溝幫子……日の本旅館
錦 縣……錦州ホテル、遼西ホテル、建國ホテル、奉山ホテル
山海關……東洋館、大和館、日本館
北 票……大同ホテル、北票ホテル
朝 陽……都ホテル、朝陽ホテル、國際ホテル
鄭家屯……鄭家屯ホテル
通 遼……通遼ホテル
洮 南……南滿旅館、萬國旅館
齊々哈爾……齊々哈爾ホテル、龍沙旅館
北 安……北黑ホテル、北安旅館、大同ホテル
吉 林……名古屋旅館、日進ホテル、近江屋旅館
敦 化……大正旅館、富士屋
圖 們……圖們館、千歲、城崎
雄 基……大和旅館、博多屋
上三峯……佐藤旅館
會 寧……會寧館、博多屋
淸 津……鶴林館、淸津館、昌平館、國際ホテル
羅 津……羅津ホテル、草島旅館
哈爾濱……北滿ホテル、名古屋ホテル、東洋ホテル、亞細亞ホテル、ナショナルホテル
昂々溪……昂榮館、小林旅館、滿壽屋旅館
滿洲里……日本ホテル、大正旅館

溫泉

社線及國線沿線には左記の溫泉がある。何れも設備が上等で旅の疲れを休めるには好適な地である。

熊岳城溫泉（連京線自大連一七九粁）旅館 溫泉ホテル
湯崗子溫泉（連京線自大連二九三粁）旅館 對翠閣、樂山莊、玉泉館
五龍背溫泉（安奉線自安東二五粁）旅館 五龍背溫泉
興城溫泉（奉山線自奉天三〇七粁三）旅館 溫泉ホテル

以上宿泊料一泊四圓以上茶代廢止、使用人心付一割乃至二割。

各地車馬賃

地名＼種類・時間	自動車（四人乘）一時間	自動車 半日（五時間）	自動車 一日（十時間）	人力車 一時間	人力車 半日（五時間）	人力車 一日（十時間）	馬車（二人乘）一時間	馬車 半日（五時間）	馬車 一日（十時間）
大連	二・五〇	一〇・〇〇	一八・〇〇	—	〇・七〇	一・四〇	—	一・四〇	二・八〇
旅順	二・五二	一〇・〇〇	一八・〇〇	—	一・〇〇	一・八〇	—	一・七三	三・三三
營口	—	—	—	—	〇・三五	〇・七〇	—	一・〇〇	二・〇〇
奉天	二・五〇	一三・五〇	二〇・〇〇	—	〇・六〇	一・〇〇	—	一・〇〇	二・〇〇
撫順	三・〇〇	—	—	—	〇・六〇	一・〇〇	—	一・五〇	三・〇〇
新京	三・〇〇	一五・〇〇	二七・〇〇	—	一・五〇	二・八〇	—	一・五〇	二・八〇
安東	四・〇〇	二〇・〇〇	四〇・〇〇	—	〇・六〇	一・〇〇	〇・五〇	一・八〇	三・〇〇
錦縣	—	—	—	〇・四〇	〇・七〇	一・〇〇	〇・六〇	一・二〇	一・八〇
山海關	—	—	—	〇・四〇	一・〇〇	二・〇〇	〇・八〇	二・〇〇	四・〇〇
鄭家屯	—	—	—	—	—	—	—	一・〇〇	二・〇〇
通遼	—	—	—	—	—	—	〇・八〇	二・〇〇	四・〇〇
洮南	—	—	—	—	—	—	〇・八〇	二・〇〇	四・〇〇
齊々哈爾	三・〇〇	—	二〇・〇〇	〇・五〇	—	三・〇〇	〇・五〇	—	三・〇〇
哈爾濱	三・〇〇	一五・〇〇	二五・〇〇	—	—	—	—	—	—
滿洲里	—	—	—	—	—	—	〇・八〇	三・〇〇	五・〇〇
吉林	三・〇〇	一五・〇〇	二五・〇〇	〇・四〇	—	—	〇・六〇	—	—
敦化	—	—	—	—	—	—	〇・二〇	〇・六〇	二・〇〇

左表ハ大體の標準であるが乘車の際は豫め料金を取極めるのが得策である。

旅行記念スタンプ

大連埠頭、甘井子埠頭、大連、沙河口、周水子、夏家河子、旅順、金州、三十里堡、普蘭店、瓦房店、松樹、熊岳城、蓋平、大石橋、營口、海城、湯崗子、鞍山、首山、遼陽、煙臺、蘇家屯、渾河、奉天、撫順、鐵嶺、開原、昌圖、四平街、公主嶺、郭家店、大屯、新京、歪頭山、本溪湖、宮原、橋頭、下馬塘、連山關、鷄冠山、鳳凰城、高麗門、五龍背、安東、「あじあ」列車內

奉天總站、大虎山、溝幫子、錦縣、興城、山海關、壺盧島、綏中、北票、朝陽、凌源、瀋陽、東陵、撫順城、營盤、山城鎭、梅河口、淸原、海龍、朝陽鎭、西安、鄭家屯、洮南、白城子、江橋、齊々哈爾、通遼、綏化、河北、索倫、富拉爾基、同避暑場、札蘭屯、同避暑場、巴林、哈爾濱、濱江、三棵樹、呼蘭、萬發屯、海倫、北安、克山、泰安、五常、拉法、吉林、敦化、圖們、龍井、延吉、明山屯、磐石、明月溝、同避暑場、龍鎭、三岔河、松花江、滿溝、拉林、南牡丹江、濱洲線、濱綏線、雙城堡、一面坡、穆稜線、綏芬河、京濱線、窰門、陶賴昭、農安、前郭旗、新站、錦縣、朝陽川、牡丹江、黑河、穆稜、橫道河子、安達、孫吳、訥河、泰來城、王爺廟、大賚城、義縣、承德、昂々溪、海拉爾、博克圖、拉哈、

撮影模寫禁止

左の場所は要塞地帶であるから寫眞の撮影及び模寫は要塞司令官の許可がない限り出來ないことになつてゐる。

大連及其附近、旅順及其附近、鴨綠江鐵橋兩橋臺附近、圖們鐵橋附近

尙特殊地帶（興安北省・黑河省・三江省蘿北・綏濱・同江・撫遠・饒河諸縣・濱江省虎林・密山・東寧・穆稜諸縣・間島省琿春縣）及航空機上からの撮影描寫は絕對禁止となつてゐるから注意を要する。（但必ず身分證明書を携行する事）

特殊地帶旅行者への注意

前記特殊地帶（國境地帶）を旅行する者は警察署の旅行許可書を要する。內地からの旅行者は最初の入滿地（例へば大連、安東、圖們等）警察署で、日程の都合では奉天、新京、哈爾濱其他特殊地帶外の都合のよい土地の警察署で旅行許可書の發給を受けることが出來る。

列車運轉時刻

滿鐵を初め、滿洲國內の各鐵道は一日廿四時間制を採用し時刻表もすべてこれに據つてゐる即ち十五時半發は午後三時半發となる。

主要鐵道線

滿鐵社線

線名	區間	粁
連京線	（大連—新京間）	七〇一・四
安奉線	（蘇家屯—安東間）	二六〇・二
旅順線	（周水子—旅順間）	五〇・八
撫順線	（渾河—撫順間）	四八・二
營口線	（大石橋—營口間）	二二・四

滿洲國有線

線名	區間	粁
京圖線	（新京—圖們間）	五二八・〇
朝開線	（朝陽川—開山屯間）	五八・〇
奉吉線	（奉天—吉林間）	四四七・六
平梅線	（四平街—梅河口間）	一五〇・一
奉山線	（奉天—山海關間）	四一九・六
大鄭線	（大虎山—鄭家屯間）	三六六・二
河北線	（溝幫子—河北間）	九一・一
錦承線	（錦縣—承德間）	四三六・〇
葉峰線	（葉柏壽—赤峰間）	一四七・一
平齊線	（四平街—齊々哈爾間）	五七一・四
白溫線	（白城子—南興安間）	三二一・六
齊北線	（齊々哈爾—北安間）	三三〇・四
訥河線	（寧年—訥河間）	八六・八
濱北線	（三棵樹—北安間）	三二六・一
拉濱線	（濱江—拉法間）	二七一・七
北黑線	（北安—黑河間）	三〇二・八
京白線	（新京—白城子間）	三三二・二
京濱線	（新京—哈爾濱間）	二四〇・二
濱洲線	（哈爾濱—滿洲里間）	九三四・八
濱綏線	（哈爾濱—綏芬河間）	五四六・四
圖佳線	（圖們—林口間）	三五八・七
虎林線	（林口—密山間）	一七〇・九
北鮮線 西部線	（南陽—淸津間）	一七〇・二
北鮮線 東部線	（南陽—羅津間）	一五九・二
假營業中線 圖佳線	（林口—佳木斯間）	二二一・五
假營業中線 虎林線	（密山—虎林間）	一六〇・九
假營業中線 新義線	（新立屯—海州間）	六三・〇

旅客運賃

線別＼等級・距離	一等	二等	三等
滿鐵線・北鮮線 一粁ニ付	四錢五厘	二錢八厘	一錢五厘五毛
國有線 一粁ニ付	五分	三分	一分八厘

急行料金

特急あじあ（第一一・一二列車）

等級	三〇〇粁迄	五〇〇粁迄	八〇〇粁迄	八〇一粁以上
三等	一・〇〇	一・五〇	二・〇〇	二・五〇
二等	二・〇〇	三・〇〇	四・〇〇	五・〇〇
一等	四・〇〇	五・〇〇	六・〇〇	七・五〇

其他の急行

等級	三〇〇粁迄	五〇〇粁迄	八〇〇粁迄
三等	〇・五〇	〇・七五	一・〇〇
二等	一・〇〇	一・五〇	二・〇〇
一等	二・〇〇	二・五〇	三・〇〇

（鮮滿連絡の場合は五〇〇粁を最低とする）

奉山線

等級	三五〇粁迄	五〇〇粁迄
三等	〇・五〇	〇・七五
二等	一・〇〇	一・五〇
一等	一・七五	二・五〇

寢臺料金

等級	上段	中段	下段
三等	一・〇〇	一・五〇	一・八〇
二等	三・〇〇	—	四・五〇
一等	五・〇〇	—	七・〇〇

食堂車食事料

		朝	晝	夕
洋食	あじあ	—	一・五〇	一・五〇
	濱州線 奉天北平直通	一・〇〇	一・五〇	一・五〇
	その他	〇・八〇	一・二〇	一・二〇
和食	あじあ	—	一・五〇	一・五〇
	その他	・六〇 ・五〇	一・〇〇	一・〇〇
一品料理		・二〇以上		

構內食堂

左の各驛には食堂の設けがあり手輕な食事が出來る。

社線　大連、大石橋、遼陽、奉天、鐵嶺、開原、昌圖、四平街、公主嶺、新京、安東

國線　奉天總站、承德、吉林、敦化、圖們、濱江、哈爾濱、双城堡、陶賴昭、窰門、呼蘭、綏化、北安、龍鎭、孫吳、阿城、安達、亞布洛尼、一面坡、亮子河、橫道河子、穆稜、伊林、下城子、牡丹江、綏芬河、鄭家屯、白城子、齊々哈爾、昂々溪、博克圖、海拉爾、免渡河、滿洲里

辨當發賣驛

社線　金州、瓦房店、熊岳城、大石橋、遼陽、奉天、鐵嶺、昌圖、四平街、公主嶺、橋頭、鷄冠山、安東

國線　錦縣、連山、葉柏壽、彰武縣、吉林、新站、五常、前郭旗、敦化、朝陽川、圖們、朗道、牡丹江、仙洞、林口、一面坡、橫道河子、下城子、穆稜、鄭家屯、洮南、白城子、昂々溪、王爺廟、海拉爾、哈爾濱、濱江、双城堡、陶賴昭、窰門、安達、滿溝、阿城、帽兒山、珠河

辨當　一箇 四〇錢　茶 一箇 五錢

連絡鐵道

滿鐵線と國有線及其他との接續驛及び線名左の通り

奉 天……奉山線にて山海關、北平方面へ
同 ……奉吉線にて朝陽鎭、吉林方面へ
四平街……平齊線にて鄭家屯、洮南、齊々哈爾、滿洲里、歐洲方面へ
同 ……平梅線にて西安、奉吉線方面へ
新 京……京濱線にて哈爾濱、滿洲里、歐洲、又は綏芬河方面へ
同 ……京圖線にて吉林、敦化、朝鮮方面へ
同 ……京白線にて農安、大賚、白城子方面へ
金 州……金福線にて貔子窩、城子疃方面へ
圖 們……圖佳線にて牡丹江、佳木斯、密山方面へ

割引乘車船券

單獨の場合

（一）內鮮滿周遊券

內地から朝鮮を經由して滿洲を一巡し大連から汽船で始發驛へ歸るのと、この反對經路を一巡する極めて便利で格安な切符である。この切符は

汽車の區間（關釜間航路を含む）……二割引
船の區間　大連—門司又は神戶……一割引
　　　　　敦賀—淸津間……二割引
通用期間……二ケ月
途中下車……隨意

で視察旅行や商用旅行に適してゐる。尙學校教職員及學生に對しては更に高率な割引がある。

（二）往復券

陸路朝鮮經由或は海路大阪商船（神戶又は門司）大連航路又は北日本・日本海滿航路（敦賀・新潟—淸津）經由再び同一經路を引返へし始發驛に戾る切符で

汽車の區間（關釜間航路を含む）……二割引
船の區間　大連—門司又は神戶……一割引
　　　　　敦賀（新潟）—淸津……二割引
通用期間……二ケ月
途中下車……隨意

で周遊券同樣極めて格安である尙發賣驛については周遊券のやうな制限がなく主なる驛なら何處でも買へるので大變便利である。

團體の場合

前記の廻遊或は往復の場合と同樣經路を、二等又は三等旅客が十人以上一團となつて旅行するときは單獨の場合よりも更に高率な左記割引がある。

割引率

	滿鐵所管線 教員學生	滿鐵所管線 普通	朝鮮線 教員學生	朝鮮線 普通	鐵道省線 教員學生	鐵道省線 普通	大阪商船 教員學生	大阪商船 普通	大連汽船 教員學生	大連汽船 普通	北日本汽船 教員學生	北日本汽船 普通
十人以上	五・〇〇	三・〇〇	五・〇〇	三・〇〇	五・〇〇	三・〇〇	二・五〇	一・五〇	二・五〇	一・〇〇	二・五〇	一・五〇
二十人以上	五・〇〇	五・〇〇	五・〇〇	五・〇〇	五・〇〇	五・〇〇	二・五〇	三等一・五〇 二等一・〇〇	三・〇〇	一・五〇	二・五〇	三等一・五〇 二等一・〇〇
三十人以上	五・〇〇	五・〇〇	五・〇〇	五・〇〇	五・〇〇	五・〇〇	三・〇〇	三等二・五〇 二等二・〇〇	三・〇〇	一・五〇	三・〇〇	三等二・五〇 二等二・〇〇
五十人以上	五・二五	五・〇〇	五・二五	五・〇〇	五・〇〇	五・〇〇	三・〇〇	二・五〇	三・五〇	二・〇〇	三・〇〇	二・五〇
百人以上	五・五〇	五・〇〇	五・五〇	五・〇〇	五・〇〇	五・〇〇	三・〇〇	二・五〇	三・五〇	二・〇〇	三・〇〇	二・五〇
二百人以上	五・五〇（三百人以上六・〇〇）	五・〇〇	五・五〇（三百人以上六・〇〇）	五・〇〇	五・〇〇	五・〇〇	三・〇〇	二・五〇	三・五〇	二・〇〇	三・〇〇	二・五〇

世話人無賃扱

本團體は二十人以上五十人未滿の團體にあつては內一人、五十人以上は五十人毎に內一人を世話人として各鐵道（關釜間航路を含む）に限り無賃（滿鐵社線滿洲國有線及朝鮮線內は急行料金共）扱として便宜を計つてゐる。

旅費と日程

內地から鮮滿の周遊旅行をするには、旅費がどの位必要だらうかといへば、汽車汽船賃・旅館宿泊料・食事料・車馬賃（馬車又は電車使用）其他旅館に於ける心付を含めて一人一日當り凡そ左記金額を標準として計算すれば大差はない。

（一）單獨の場合
二等……一二圓—一三圓　三等……七圓—八圓

（二）團體の場合（二十人以上）
二等……一〇圓　三等……六圓　三等（學生）……四圓

滿鮮視察旅行日程一例

例	日次	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
例一	觀察地	下關發	釜山 京城	京城	平壤	撫順 奉天	奉天	旅順 大連	大連	大連	海上	海上	下關歸着		
	宿泊	船中	京城	車中	車中	奉天	車中	大連	大連	大連	船中	船中			
例二	觀察地	下關發	釜山 京城	京城	平壤	撫順 奉天	奉天	哈爾濱	新京	新京	大連	旅順	海上	海上	下關歸着
	宿泊	船中	京城	車中	車中	奉天	車中	哈市	新京	車中	大連	大連	船中	船中	
例三	觀察地	敦賀（新潟）發	海上	淸津	圖們	吉林 新京	哈爾濱	哈爾濱	奉天	撫順	大連	旅順	京城	京城	下關歸着
	宿泊	船中	船中	淸津	車中	新京	哈市	車中	奉天	車中	大連	車中	京城	車中	

鮮滿旅行その他の事情に就ては左記の箇所を御利用下さい

◎奉天・滿鐵鐵道總局營業局旅客課
◎滿鐵鮮滿案內所
門司市西海岸通稅關前　下關市驛前
大阪市東區堺筋安土町　東京市丸ビル一階　東京虎ノ門滿鐵ビル
◎ジャパンツーリストビューロー 日本旅行協會各地案內所

一二年三月（鐵道總局旅客課）四五萬
大阪　坂井印刷所納

滿洲旅行の栞

（昭和十二年度版）

徑路

滿洲へ旅行するには左の徑路がある。

海路大連經由

（イ）大阪商船經由　殆んど連日神戸出帆、門司、大連に往復してゐる。五千乃至八千噸の大型汽船で愉快な旅行が續けられる。

（ロ）近海郵船經由　主として南九州地方の旅客のための航路で、月六回、鹿兒島、長崎と大連間を往復運航してゐる。

朝鮮經由

（イ）釜山經由　毎日朝、夕二回下關と釜山間に鐵道省直營の連絡船がある。釜山及び下關では急行列車に夫々接續する。

（ロ）北鮮經由　北日本汽船敦賀、清津直航路（羅津、雄基寄港）は月六回、日本海汽船新潟雄基航路（羅津、清津寄港）は月三回、何れも兩地間を往復運航してゐる。

飛行機に依る場合

毎日（月曜日を除く）東京、大連間を發着してゐる。途中着陸地は名古屋、大阪、福岡、蔚山、京城、平壤、新義州である。尚天津、青島及上海方面からは大連へ三日目毎に大連汽船の連絡船が就航してゐる。

旅行季節

春―四月中旬から五月下旬の花期、六月の新綠の候を最も良しとする。

夏―七月下旬から八月中旬は所謂雨期であるが、大陸氣候の影響を受け雨量尠く野も山も綠滴り、朝夕は涼風吹き來り極めて凌ぎ易い。

秋―九、十月は紅葉の季節で、春にも優る旅行の好季節である。

冬―滿洲の冬は、三寒四溫と云つて寒さが三日續けば、次に暖い日が四日續くといふやうに、自然に氣候が緩和されて居る。この時期は滿洲として一番活氣ある時で、農作物の出廻り盛んで又氷滑り、銃獵の好季節でもある。

服裝と携帶品

鐵道を離れてずつと奥地へ入る人は別として、鐵道沿線の主要都市を視察される旅行なれば、內地の旅行とさして選ぶ所なく、取立てゝ特別に携行を要するやうなものはない。なるべく輕快な服裝＝洋服の方が萬事に便利である。氣候が大陸的で、日中の酷暑期でも夜間は涼氣を覺へる事があるから腹卷、セータ類の用意があれば申分ない。雨の少い地方であるから洋傘を携行するよりレインコートの方が上記の理由からもよく、冬は厚手の外套を用意すればよい。

携帶品の證明

內地から携帶される寫眞機、望遠鏡等の高價品は歸路輸入品と看做され課税される虞れがあるから、入國に際し左記の税關箇所で携帶證明を受けて置く必要がある。

一、海路大連上陸の場合は神戸又は門司税關で。

一、釜山上陸朝鮮經由の場合は安東驛內新義州税關出張所で。

一、清津、雄基上陸の場合は上三峯驛又は圖們驛內税關出張所で。

通貨

通貨流通の種類は、日本貨幣、朝鮮銀行紙幣、滿洲國幣の三種である。滿洲國幣、邦貨は何れも等價に使用出來るから、兩替の必要はない。

歸路の兩替

滿洲貨幣は普通兩替店で兩替出來るが、大連驛第一ホーム國幣無料交換所、奉天、新京、圖們、上三峯驛構內賣店、安東驛ホーム構內賣店並大連埠頭、釜山棧橋朝鮮銀行出張所で等價無料兩替をしてゐるから、これを利用すればよい。また、朝鮮銀行紙幣も大連埠頭、釜山棧橋の同銀行出張所で旅客のため兩替の便を計つてゐる。

營口……清林館

鞍山……近江屋ホテル、扇屋旅館

遼陽……遼塔ホテル

奉天……瀋陽館、大星ホテル、大丸旅館、平和ホテル、マルナカホテル　溫泉ホテル

鐵嶺……松花ホテル

開原……二葉旅館

四平街……植半旅館、小松屋旅館

公主嶺……公主嶺ホテル、丸福旅館

新京……國都ホテル、中央ホテル、新京旅館、滿蒙旅館、大丸新館、白石旅館、東亞ホテル、向陽ホテル、太平旅館、太陽ホテル、都ホテル、國華ホテル、常盤旅館、西村旅館、富士屋旅館、北滿ホテル、梅屋旅館

本溪湖……本溪湖ホテル

橋頭……富田旅館

安東……安東ホテル、富久壽美旅館、元寶館、滿洲旅館、大和旅館、安東館、日ノ出旅館

大虎山……大和屋、大虎山ホテル

溝帮子……日の本旅館

錦縣……錦州ホテル、遼西ホテル、建國ホテル、奉山ホテル

山海關……東洋館、大和館、日本館

北票……大同ホテル、北票ホテル

朝陽……都ホテル、朝陽ホテル、國際ホテル

鄭家屯……鄭家屯ホテル

通遼……通遼ホテル

洮南……南滿旅館、萬國旅館

齊々哈爾……齊々哈爾ホテル、龍沙旅館

北安……北黑ホテル、北安旅館、大同ホテル

吉林……名古屋旅館、日進ホテル、近江屋旅館

敦化……大正旅館、富士屋

圖們……圖們館、千歳、城崎

雄基……大和旅館、博多屋

上三峯……佐藤旅館

會寧……會寧館、博多屋

清津……鶏林館、清津館、昌平館、國際ホテル

羅津……羅津ホテル、草島旅館

哈爾濱……北滿ホテル、名古屋ホテル、東洋ホテル、亞細亞ホテル、ナショナルホテル

昂々溪……昂榮館、小林旅館、滿壽屋旅館

滿洲里……日本ホテル、大正旅館

溫泉

社線及國線沿線には左記の溫泉がある。何れも設備が上等で旅の疲れを休めるには好適な地である。

熊岳城溫泉（連京線自大連一七九粁）旅館　溫泉ホテル

湯崗子溫泉（連京線自大連二九三粁）旅館　對翠閣、樂山莊、玉泉館

五龍背溫泉（安奉線自安東二五粁）旅館　五龍背溫泉

興城溫泉（奉山線自奉天三〇七粁三）旅館　溫泉ホテル

以上宿泊料一泊四圓以上茶代廢止、使用人心付一割乃至二割。

各地車馬賃

左表ハ大體の標準であるが乘車の際は豫め料金を取極めるのが得策である。

種類	自動車（四人乘）			人力車			馬車（二人乘）		
地名＼時間	一時間	半日（五時間）	一日（十時間）	一時間	半日（五時間）	一日（十時間）	一時間	半日（五時間）	一日（十時間）
大連	二・五〇	一〇・〇〇	一八・〇〇	―	〇・七〇	一・四〇	―	一・四〇	二・八〇
旅順	二・五二	一〇・〇〇	一八・〇〇	―	一・〇〇	一・八〇	―	一・七三	三・三

急行料金

特急あじあ（第一一・一二列車）

	三〇〇粁迄	五〇〇粁迄	八〇〇粁迄	八〇一粁以上
三等	一・〇〇円	一・五〇	二・〇〇	二・五〇
二等	二・〇〇	三・〇〇	四・〇〇	五・〇〇
一等	四・〇〇	五・〇〇	六・〇〇	七・五〇

其他の急行

	三〇〇粁迄	五〇〇粁迄	八〇〇粁迄
三等	〇・五〇円	〇・七五	一・〇〇
二等	一・〇〇	一・五〇	二・〇〇
一等	二・〇〇	二・五〇	三・〇〇

（鮮滿連絡の場合は五〇〇粁を最低とする）

奉山線

	三五〇粁迄	五〇〇粁迄
三等	〇・五〇円	〇・七五
二等	一・〇〇	一・五〇
一等	一・七五	二・五〇

寢臺料金

	上段	中段	下段
三等	一・〇〇円	一・五〇	一・八〇
二等	三・〇〇	―	四・五〇
一等	五・〇〇	―	七・〇〇

食堂車食事料

		朝	晝	夕
洋食	あじあ	―	一・五〇円	一・五〇円
	濱州線 奉天北平直通	一・〇〇	一・五〇	一・五〇
	その他	〇・八〇	一・二〇	一・二〇
和食	あじあ	―	一・五〇	一・五〇
	その他	・六〇／・五〇	一・〇〇	一・〇〇
	一品料理	・二〇以上		

構內食堂

左の各驛には食堂の設けがあり手輕な食事が出來る。

社線　大連、大石橋、遼陽、奉天、鐵嶺、開原、昌圖、四平街、公主嶺、新京、安東

國線　奉天總站、承德、吉林、敦化、圖們、濱江、哈爾濱、双城堡、陶賴昭、窰門、呼蘭、綏化、北安、龍鎭、孫呉、阿城、安達、亞布洛尼、一面坡、亮子嵜、橫道河子、穆稜、伊林、下城子、牡丹江、綏芬河、鄭家屯、白城子、齊々哈爾、昂々溪、博克圖、海拉爾、免渡河、滿洲里

辨當發賣驛

社線　金州、瓦房店、熊岳城、大石橋、遼陽、奉天、鐵嶺、昌圖、四平街、公主嶺、橋頭、鷄冠山、安東

國線　錦縣、連山、葉柏壽、彰武縣、吉林、新站、五常、前郭旗、敦化、朝陽川、圖們、鹿道、牡丹江、仙洞、林口、一面坡、橫道河子、下城子、穆稜、鄭家屯、洮南、白城子、昂々溪、王爺廟、海拉爾、哈爾濱、濱江、双城堡、陶賴昭、窰門、安達、滿溝、阿城、帽兒山、珠河

辨當　一箇　四〇錢　　茶　一箇　五錢

連絡鐵道

滿鐵線と國有線及共他との接續驛及び線名左の通り

奉天……奉山線にて山海關、北平方面へ

同……奉吉線にて朝陽鎭、吉林方面へ

四平街……平齊線にて鄭家屯、洮南、齊々哈爾、滿洲里、歐洲方面へ

同……平梅線にて西安、奉吉線方面へ

新京……京濱線にて哈爾濱、滿洲里、歐洲、又は綏芬河方面へ

同……京圖線にて吉林、敦化、朝鮮方面へ

同……京白線にて農安、大賚、白城子方面へ

鄭家屯……鄭家屯ホテル
通遼……通遼ホテル
洮南……南滿旅館、萬國旅館
齊々哈爾……齊々哈爾ホテル、龍沙旅館
北安……北黒ホテル、北安旅館、大同ホテル
吉林……名古屋旅館、日進ホテル、近江屋旅館
敦化……大正旅館、富士屋
圖們……圖們館、千歳、城崎
雄基……大和旅館、博多屋
上三峯……佐藤旅館、
會寧……會寧館、博多屋
清津……鶏林館、清津館、昌平館、國際ホテル
羅津……羅津ホテル、草島旅館
哈爾濱……北滿ホテル、名古屋ホテル、東洋ホテル、亞細亞ホテル
ナショナルホテル
昂々溪……昂榮館、小林旅館、滿壽屋旅館
滿洲里……日本ホテル、大正旅館

旅行季節

春―四月中旬から五月下旬の花期、六月の新綠の候を最も良しとする。
夏―七月下旬から八月中旬は所謂雨期であるが、大陸氣候の影響を受け雨量尠く野も山も綠滴り、朝夕は涼風吹き來り極めて凌ぎ易い。
秋―九、十月は紅葉の季節で、春にも優る旅行の好季節である。
冬―滿洲の冬は、三寒四溫と云つて寒さが三日續けば、次に暖い日が四日續くといふやうに、自然に氣候が緩和されて居る。この時期は滿洲として一番活氣ある時で、農作物の出廻り盛んで又氷滑り、銃獵の好季節でもある。

服裝と携帶品

鐵道を離れてずつと奥地へ入る人は別として、鐵道沿線の主要都市を視察される旅行なれば、內地の旅行とさして選ぶ所なく、取立てゝ特別に携行を要するやうなものはない。なるべく輕快な服裝=洋服の方が萬事に便利である。氣候が大陸的で、日中の酷暑期でも夜間は涼氣を覺へる事があるから腹卷、セータ類の用意があれば申分ない。雨の少い地方であるから洋傘を携行するよりレインコートの方が上記の理由からもよく、冬は厚手の外套を用意すればよい。

携帶品の證明

內地から携帶される寫眞機、望遠鏡等の高價品は歸路輸入品と看做され課稅される虞れがあるから、入國に際し左記の稅關箇所で携帶證明を受けて置く必要がある。

一、海路大連上陸の場合は神戶又は門司稅關で。
一、釜山上陸朝鮮經由の場合は安東驛內新義州稅關出張所で。
一、淸津、雄基上陸の場合は上三峯驛又は圖們驛內稅關出張所で。

通貨

通貨流通の種類は、日本貨幣、朝鮮銀行紙幣、滿洲國幣の三種である。滿洲國幣、邦貨は何れも等價に使用出來るから、兩替の必要はない。

歸路の兩替

滿洲貨幣は普通兩替店で兩替出來るが、大連驛第一ホーム國幣無料交換所、奉天、新京、圖們、上三峯驛構內賣店、安東驛ホーム構內賣店並大連埠頭、釜山棧橋朝鮮銀行出張所で等價無料兩替をしてゐるから、これを利用すればよい。また、朝鮮銀行紙幣も大連埠頭、釜山棧橋の同銀行出張所で旅客のため兩替の便を計つてゐる。

滿洲の鐵道

滿洲の鐵道は、南滿洲鐵道會社線(社線)と滿洲國々有鐵道線(國線)とに分れてゐるが、國線は滿洲國の委託をうけて滿鐵がその經營に當り、鐵道總局に依つて、全滿洲鐵道の一元的經營が行はれてゐる。

鐵道の運賃

邦貨、國幣の區別なく等價に收受されてゐるから兩替の必要はなく、何れで支拂ふも差支へない。

土產物と稅關

稅關では旅行に必要な手廻り品以外は課稅するのを原則としてゐる。安い、珍らしいで買つたが課稅されて高い土產になつた例は澤山ある。旅客の携帶品は左の區分に依り稅關の檢査を受けねばならぬ。

(イ) 大連から大阪商船定期船で門司、神戶に向ふ場合(船中で)此の反對の場合(神戶、又は門司稅關で)
(ロ) 大連驛から關東州外に向ふ場合(大連驛で)託送手荷物は大連驛手小荷物檢査所で、携帶品中課稅品ある場合は同檢査所に任意申告を必要とする。此の反對の場合(普蘭店以南の列車中で)
(ハ) (1) 安東驛經由の場合(安東驛で)携帶品は車內で、託送手荷物は驛ホーム檢査所に於て
(2) 京圖線經由の場合(圖們驛で)、京圖線及朝開線經由の場合(上三峯驛で)、携帶品は車中で、託送手荷物は驛ホーム檢査所で

滿洲から內地へ行く場合、毛皮、寫眞機、麻雀、雙眼鏡、寶石類等の奢侈品は輸入地市價の十割の輸入稅を課せられる。尙骨牌類は本關稅の外麻雀は一組に付金三圓、トランプ類は一組に付金五〇錢の骨牌稅が課せられる。

一、左記の煙草は自用と認められたる場合に限り記載數量だけは免稅されてゐる、尙煙草は檢査の證印を必ず受けねばならぬ。

煙草 {葉卷 五十本 / 紙卷 百本 / 刻 三十匁} 一人に付何れか一種に限る但し葉卷紙卷兩方の場合は各半量とす

左記は何れも稅關吏の認定であるから、……

各地車馬賃

左表ハ大體の標準であるが乘車の際は豫め料金を取極めるのが得策である。

地名	自動車(四人乘) 一時間	自動車(四人乘) 半日(五時間)	自動車(四人乘) 一日(十時間)	人力車 一時間	人力車 半日(五時間)	人力車 一日(十時間)	馬車(二人乘) 一時間	馬車(二人乘) 半日(五時間)	馬車(二人乘) 一日(十時間)
大連	二・五〇	一〇・〇〇	一八・〇〇	—	〇・七〇	一・四〇	—	一・四〇	二・八〇
旅順	二・五二	一〇・〇〇	一八・〇〇	—	一・〇〇	一・八〇	—	一・七三	三・三三
營口	—	—	—	—	〇・三五	〇・七〇	—	一・〇〇	二・〇〇
奉天	二・五〇	一三・五〇	二〇・〇〇	—	〇・六〇	一・〇〇	—	一・〇〇	二・〇〇
撫順	三・〇〇	—	—	—	〇・六〇	一・〇〇	—	一・五〇	三・〇〇
新京	三・〇〇	一五・〇〇	二七・〇〇	—	一・五〇	二・八〇	—	一・五〇	二・八〇
安東	四・〇〇	二〇・〇〇	四〇・〇〇	—	〇・六〇	一・〇〇	〇・五〇	一・八〇	三・〇〇
錦縣	—	—	—	〇・四〇	〇・七〇	一・〇〇	〇・六〇	一・二〇	一・八〇
山海關	—	—	—	〇・四〇	一・〇〇	二・〇〇	〇・八〇	二・〇〇	四・〇〇
鄭家屯	—	—	—	—	—	—	—	一・〇〇	二・〇〇
通遼	—	—	—	—	—	—	〇・八〇	二・〇〇	四・〇〇
洮南	—	—	—	—	—	—	〇・八〇	二・〇〇	四・〇〇
齊々哈爾	三・〇〇	—	二〇・〇〇	〇・五〇	—	三・〇〇	〇・五〇	—	三・〇〇
哈爾濱	三・〇〇	一五・〇〇	二五・〇〇	—	—	—	—	—	—
滿洲里	—	—	—	—	—	—	〇・八〇	三・〇〇	五・〇〇
吉林	三・〇〇	一五・〇〇	二五・〇〇	〇・四〇	—	—	〇・六〇	—	—
敦化	—	—	—	—	—	—	〇・二〇	〇・六〇	二・〇〇

溫泉

社線及國線沿線には左記の溫泉がある。何れも設備が上等で旅の疲れを休めるには好適な地である。

熊岳城溫泉 (連京線自大連一七九粁) 旅館 溫泉ホテル
湯崗子溫泉 (連京線自大連二九三粁) 旅館 對翠閣、樂山莊、玉泉館
五龍背溫泉 (安奉線自安東二五粁) 旅館 五龍背溫泉
興城溫泉 (奉山線自奉天三〇七粁三) 旅館 溫泉ホテル

以上宿泊料一泊四圓以上茶代廢止、使用人心付一割乃至二割。

旅行記念スタンプ

大連埠頭、甘井子埠頭、大連、沙河口、周水子、夏家河子、旅順、金州、三十里堡、普蘭店、瓦房店、松樹、沙崗、熊岳城、蓋平、大石橋、營口、海城、湯崗子、鞍山、首山、遼陽、煙臺、蘇家屯、渾河、奉天、撫順、鐵嶺、開原、昌圖、四平街、公主嶺、郭家店、大屯、新京、歪頭山、本溪湖、宮原、橋頭、下馬塘、連山關、鷄冠山、鳳凰城、高麗門、五龍背、安東、「あじあ」列車內
奉天總站、大虎山、溝幇子、錦縣、興城、山海關、壺盧島、綏中、北票、朝陽、凌源、瀋陽、東陵、撫順城、營盤、山城鎭、梅河口、淸原、……

構內食堂

左の各驛には食堂の設けがあり手輕な食事が出來る。

社線　大連、大石橋、遼陽、奉天、鐵嶺、開原、昌圖、四平街、公主嶺、新京、安東
國線　奉天總站、承德、吉林、敦化、圖們、濱江、哈爾濱、双城堡、陶賴昭、窰門、呼蘭、綏化、北安、龍鎭、孫呉、阿城、安達、亞布洛尼、一面坡、亮子嶺、橫道河子、穆稜、伊林、下城子、牡丹江、綏芬河、鄭家屯、白城子、齊々哈爾、昂々溪、博克圖、海拉爾、免渡河、滿洲里

濱洲線 奉天北平直通　一・〇〇　一・五〇　一・五〇
その他　〇・八〇　一・二〇　一・二〇
和食　あじあ　—　一・五〇　一・五〇
その他　・六〇 ・五〇　一・〇〇　一・〇〇
一品料理　・二〇以上

辨當發賣驛

社線　金州、瓦房店、熊岳城、大石橋、遼陽、奉天、鐵嶺、昌圖、四平街、公主嶺、橋頭、鷄冠山、安東
國線　錦縣、連山、葉柏壽、彰武縣、吉林、新站、五常、前郭旗、敦化、朝陽川、圖們、鹿道、牡丹江、仙洞、林口、一面坡、橫道河子、下城子、穆稜、鄭家屯、洮南、白城子、昂々溪、王爺廟、海拉爾、哈爾濱、濱江、双城堡、陶賴昭、窰門、安達、滿溝、阿城、帽兒山、珠河

辨當　一箇　四〇錢　茶　一箇　五錢

連絡鐵道

滿鐵線と國有線及其他との接續驛及び線名左の通り

奉天……奉山線にて山海關、北平方面へ
同……奉吉線にて朝陽鎭、吉林方面へ
四平街……平齊線にて鄭家屯、洮南、齊々哈爾、滿洲里、歐洲方面へ
同……平梅線にて西安、奉吉線方面へ
新京……京濱線にて哈爾濱、滿洲里、歐洲、又は綏芬河方面へ
同……京圖線にて吉林、敦化、朝鮮方面へ
同……京白線にて農安、大賚、白城子方面へ
金州……金福線にて貔子窩、城子疃方面へ
圖們……圖佳線にて牡丹江、佳木斯、密山方面へ

割引乘車船券

單獨の場合

(一) 內鮮滿周遊券

內地から朝鮮を經由して滿洲を一巡し大連から汽船で始發驛へ歸るのと、この反對經路を一巡する極めて便利で格安な切符である。この切符は

汽車の區間　(關釜間航路を含む)……二割引
船の區間　大連―門司又は神戶……一割引
　　　　　敦賀―淸津間……二割引
通用期間……二ヶ月
途中下車……隨意

で視察旅行や商用旅行に適してゐる。尙學校敎職員及學生に對しては更に高率な割引がある。

(二) 往復券

陸路朝鮮經由或は海路大阪商船(神戶又は門司)大連航路又は北日本・日本海兩航路(敦賀・新潟―淸津)經由再び同一經路を引歸へし始發驛に戾る切符で

汽車の區間　(關釜間航路を含む)……二割引
船の區間　大連―門司又は神戶……一割引
　　　　　敦賀(新潟)―淸津……二割引
通用期間……二ヶ月
途中下車……隨意

で周遊券同樣極めて格安である尙發賣驛については周遊券のやうな制限がなく主なる驛なら何處でも買へるので大變便利である。

團體の場合

前記の廻遊或は往復の場合と同樣經路を、二等又は三等旅客が十人以上一團となつて旅行するときは單獨の場合よりも更に高率な左記割引がある。

……二十人……三十人……五十人……百人以上……二百人……

鐵道總局に依つて [illegible]

邦貨、國幣の區別なく等價に收受されてゐるから兩替の必要はなく、何れで支拂ふも差支へない。

鐵道の運賃

土產物と稅關

稅關では旅行に必要な手廻り品以外は課稅するのを原則としてゐる。安い、珍らしいで買つたが課稅されて高い土產になつた例は澤山ある。

旅客の携帶品は左の區分に依り稅關の檢査を受けねばならぬ。

（イ）大連から大阪商船定期船で門司、神戶に向ふ場合（船中で）此の反對の場合（神戶、又は門司稅關で）

（ロ）大連驛から關東州外に向ふ場合（大連驛で）託送手荷物は大連驛手小荷物檢査所で、携帶品中課稅品ある場合は同檢査所に任意申告を必要とする。此の反對の場合（普蘭店以南の列車中で）

（ハ）(1) 安東驛經由の場合（安東驛で）携帶品は車內で、託送手荷物は驛ホーム檢査所に於て

(2) 京圖線經由の場合（圖們驛で）、京圖線及朝開線經由の場合（上三峯驛で）、携帶品は車中で、託送手荷物は驛ホーム檢査所で

滿洲から內地へ行く場合、毛皮、寫眞機、麻雀、雙眼鏡、寶石類等の奢侈品は輸入地市價の十割の輸入稅を課せられる。尙骨牌類は本關稅の外麻雀は一組に付金三圓、トランプ類は一組に付金五〇錢の骨牌稅が課せられる。

一、左記の煙草は自用と認められたる場合に限り記載數量だけは免稅されてゐる、尙煙草は檢査の證印を必ず受けねばならぬ。

煙草｛葉巻 五十本／紙巻 百本／刻 三十匁｝一人に付何れか一種に限る但し葉巻紙巻兩方の場合は各半量とす

左記は何れも稅關吏の認定であるから、之を定量として主張することが出來ないが此の程度ならば先づ免稅として許されてゐる。

砂糖、菓子類……合せて十斤位迄

ロシヤ飴は……三　罐　位　迄

支那の織物｛絹紬一反／絹緞十尺／緞子十尺｝一人に付何れか一品に限る

支　那　素　麵……十　斤　迄

甘　　　栗……七百匁位迄

一、大連は自由港であるから舶來品は內地より安い筈であるが、必ずしもそうではない場合もあるから內地の相場と比較して買求められることが安全である。

旅　　館

滿洲內鐵道沿線主要地各旅館は大體茶代廢止が實行され（社線沿線各旅館は茶代絕對廢止）旅行者間に好評を博してゐる。女中その他使用人への心付は宿料支拂額の一割乃至二割をやれば結構である。

○單獨宿泊料

洋式ホテル……鐵道總局直營ヤマトホテル及その他の洋式ホテルには何れも歐・米兩式があり、宿料は一人室一日凡そ金三圓以上、食事料は凡そ朝一圓五〇錢、晝二圓、晩二圓五〇錢である。

和式旅館……一泊二食付、凡そ一等六圓以上、二等五圓、三等四圓である。

○團體宿泊料

社線、國線兩沿線とも、それぞれ旅館協定團體宿泊料が定められてゐるが、社線沿線は關東州內と、州外即ち滿洲國內と、料金に多少の開きがあり、國線沿線でも土地によつて特種料金が定められてゐる。尙缺食の場合の宿泊料も協定されてゐる。

社線沿線旅館協定團體宿泊料及食事料金

滿洲國內

團體別＼料金		宿泊基本料金	食事料金 朝食	食事料金 晝食	食事料金 夕食	食事料金 辨當	摘要
學生・生徒	小學校	一泊三食 一・三〇円	・三五円	・四五円	・五五円	・三〇円	握飯
	中等學校	一・九〇	・五五	・六五	・九〇	・四〇	二重折
	專門學校以上	二・五〇	・七五	・八五	一・一〇	・四五	同
青年團		一泊二食 二・五〇円	・七五円	・八五円	一・三五円	・五五円	同
教育軍人團（普通義員・軍人下士以下）		三・〇〇	・九〇	一・一〇	一・六〇	・七〇	同
普通團體		三・八〇	一・一〇	一・六〇	二・二〇	・八〇	同

新京	三・〇〇	一五・〇〇	二七・〇〇	―	一・五〇	二・八〇	―	一・五〇	二・八〇
安東	四・〇〇	二〇・〇〇	四〇・〇〇	―	〇・六〇	一・〇〇	〇・五〇	一・八〇	三・〇〇
錦縣	―	―	―	〇・四〇	〇・七〇	一・〇〇	〇・六〇	一・二〇	一・八〇
山海關	―	―	―	〇・四〇	一・〇〇	二・〇〇	〇・八〇	二・〇〇	四・〇〇
鄭家屯	―	―	―	―	―	―	―	一・〇〇	二・〇〇
通遼	―	―	―	―	―	―	〇・八〇	二・〇〇	四・〇〇
洮南	―	―	―	―	―	―	〇・八〇	二・〇〇	四・〇〇
齊々哈爾	三・〇〇	―	二〇・〇〇	〇・五〇	―	三・〇〇	〇・五〇	―	三・〇〇
哈爾濱	三・〇〇	一五・〇〇	二五・〇〇	―	―	―	―	―	―
滿洲里	―	―	―	―	―	―	〇・八〇	三・〇〇	五・〇〇
吉林	三・〇〇	一五・〇〇	二五・〇〇	〇・四〇	―	―	〇・六〇	―	―
敦化	―	―	―	―	―	―	〇・二〇	〇・六〇	二・〇〇

旅行記念スタンプ

大連埠頭、甘井子埠頭、大連、沙河口、周水子、夏家河子、旅順、金州、三十里堡、普蘭店、瓦房店、松樹、沙崗、熊岳城、葢平、大石橋、營口、海城、湯崗子、鞍山、首山、遼陽、煙臺、蘇家屯、渾河、奉天、撫順、鐵嶺、開原、昌圖、四平街、公主嶺、郭家店、大屯、新京、歪頭山、本溪湖、宮原、橋頭、下馬塘、連山關、鷄冠山、鳳凰城、高麗門、五龍背、安東、「あじあ」列車內

奉天總站、大虎山、溝帮子、錦縣、興城、山海關、壺盧島、綏中、北票、朝陽、凌源、瀋陽、東陵、撫順城、營盤、山城鎭、梅河口、淸原、海龍、朝陽鎭、西安、鄭家屯、洮南、白城子、江橋、齊々哈爾、通遼、哈爾濱、濱江、三棵樹、呼蘭、萬發屯、海倫、北安、克山、泰安、五常、拉法、吉林、敦化、圖們、龍井、延吉、開山屯、磐石、明月溝、綏化、河北、索倫、富拉爾基、同避暑場、札蘭屯、同避暑場、巴林、同避暑場、龍鎭、三岔河、松花江、滿溝、拉林、南牡丹江、濱洲線、濱綏線、雙城堡、一面坡、穆稜線、綏芬河、京濱線、窰門、陶賴昭、農安、前郭旗、新站、錦縣、朝陽川、牡丹江、黑河、穆稜、橫道河子、安達、孫吳、訥河、泰來城、王爺廟、大賚城、義縣、承德、昂々溪、海拉爾、博克圖、拉哈、

撮影模寫禁止

左の場所は要塞地帶であるから寫眞の撮影及び模寫は要塞司令官の許可がない限り出來ないことになつてゐる。

大連及其附近、旅順及其附近、鴨綠江鐵橋兩橋臺附近、圖們鐵橋附近

尙特殊地帶（興安北省・黑河省・三江省蘿北・綏濱・同江・撫遠・饒河諸縣・濱江省虎林・密山・東寧・穆稜諸縣・間島省琿春縣）及航空機上からの撮影描寫は絕對禁止となつてゐるから注意を要する。（但必ず身分證明書を携行する事）

特殊地帶旅行者への注意

前記特殊地帶（國境地帶）を旅行する者は警察署の旅行許可書を要する。內地からの旅行者は最初の入滿地（例へば大連、安東、圖們等）警察署で、日程の都合では奉天、新京、哈爾濱其他特殊地帶外の都合のよい土地の警察署で旅行許可書の發給を受けることが出來る。

列車運轉時刻

滿鐵を初め、滿洲國內の各鐵道は一日廿四時間制を採用し時刻表もすべてこれに據つてゐる即ち十五時半發は午後三時半發となる。

主要鐵道線

滿鐵社線

線名	區間	粁
連京線	大連—新京間	七〇一・四
安奉線	蘇家屯—安東間	二六〇・二
旅順線	周水子—旅順間	五〇・八
撫順線	渾河—撫順間	四八・二
營口線	大石橋—營口間	二二・四

滿洲國有線

線名	區間	粁
京圖線	新京—圖們間	五二八・〇
朝開線	朝陽川—開山屯間	五八・〇
奉吉線	奉天—吉林間	四四七・六
平梅線	四平街—梅河口間	一五〇・一
奉山線	奉天—山海關間	四一九・六
大鄭線	大虎山—鄭家屯間	三六六・二
河北線	溝帮子—河北間	九一・一
錦承線	錦縣—承德間	四三六・〇

（一）內鮮滿周遊券

內地から朝鮮を經由して滿洲を一巡し大連から汽船で始發驛へ歸るのと、この反對經路を一巡する極めて便利で格安な切符である。この切符は

汽車の區間（關釜間航路を含む）……二割引

船の區間　大連—門司又は神戶……一割引

　　　　　敦賀—淸津間……二割引

通用期間……二ケ月

途中下車……隨意

で視察旅行や商用旅行に適してゐる。尙學校敎職員及學生に對しては更に高率な割引がある。

（二）往復券

陸路朝鮮經由或は海路大阪商船（神戶又は門司）大連航路又は北日本・日本海兩航路（敦賀・新潟—淸津）經由再び同一經路を引歸へし始發驛に戾る切符で

汽車の區間（關釜間航路を含む）……二割引

船の區間　大連—門司又は神戶……一割引

　　　　　敦賀（新潟）—淸津……二割引

通用期間……二ケ月

途中下車……隨意

で周遊券同樣極めて格安である尙發賣驛については周遊券のやうな制限がなく主なる驛なら何處でも買へるので大變便利である。

團體の場合

前記の廻遊或は往復の場合と同樣經路を、二等又は三等旅客が十人以上一團となつて旅行するときは單獨の場合よりも更に高率な左記割引がある。

割引率

	滿鐵所管線 敎員學生	滿鐵所管線 普通	滿洲國有線 朝鮮線 敎員學生	滿洲國有線 朝鮮線 普通	鐵道省線 敎員學生	鐵道省線 普通	大阪商船 敎員學生	大阪商船 普通	大連汽船 敎員學生	大連汽船 普通	北日本 日本海 汽船 敎員學生	北日本 日本海 汽船 普通
十人以上	五・〇〇割	三・〇〇	五・〇〇	三・〇〇	五・〇〇	三・〇〇	二・五〇	一・五〇	二・五〇	一・〇〇	二・五〇	一・五〇
二十人以上	五・〇〇割	五・〇〇	五・〇〇	五・〇〇	五・〇〇	五・〇〇	二・五〇	三等一・五〇 二等二・〇〇	三・〇〇	一・五〇	二・五〇	三等一・五〇 二等二・〇〇
三十人以上	五・〇〇割	五・〇〇	五・〇〇	五・〇〇	五・〇〇	五・〇〇	三・〇〇	三等二・五〇 二等二・〇〇	三・〇〇	一・五〇	三・〇〇	三等二・五〇 二等二・〇〇
五十人以上	五・二五割	五・〇〇	五・二五	五・〇〇	五・〇〇	五・〇〇	三・〇〇	二・五〇	三・五〇	二・〇〇	三・〇〇	二・五〇
百人以上	五・五〇割	五・〇〇	五・五〇	五・〇〇	五・〇〇	五・〇〇	三・〇〇	二・五〇	三・五〇	二・〇〇	三・〇〇	二・五〇
二百人以上	五・五〇割 三百人以上 六・〇〇割	五・〇〇	五・五〇 三百人以上 六・〇〇	五・〇〇	五・〇〇	五・〇〇	三・〇〇	二・五〇	三・五〇	二・〇〇	三・〇〇	二・五〇

世話人無賃扱

本團體は二十人以上五十人未滿の團體にあつては內一人、五十人以上は五十人每に內一人を世話人として各鐵道（關釜間航路を含む）に限り無賃（滿鐵社線滿洲國有線及朝鮮線內は急行料金共）扱として便宜を計つてゐる。

旅費と日程

內地から鮮滿の周遊旅行をするには、旅費がどの位必要だらうかといへば、汽車汽船賃・旅館宿泊料・食事料・車馬賃（馬車又は電車使用）其他旅館に於ける心付を含めて一人一日當り凡そ左記金額を標準として計算すれば大差はない。

（一）單獨の場合

二等……一二圓—一三圓　三等……七圓—八圓

（二）團體の場合（二十人以上）

二等……一〇圓　三等……六圓　三等（學生）……四圓

滿鮮視 [illegible]

日次	例一 視察地	例一 宿泊	例二 視察地	例二 宿泊	例三 視察地	例三 宿泊
1	下關發	船中	下關發	船中	敦賀（新潟）發	船中
2	釜山 京城	京城	釜山 京城	京城	海上	船中
3	京城	車中	京城	車中	淸津	淸津

一、大連は自由港であるから船來品は內地より安い筈であるが、必ずしもそうではない場合もあるから內地の相場と比較して買求められることが安全である。

旅　館

滿洲內鐵道沿線主要地各旅館は大體茶代廢止が實行され（社線沿線各旅館は茶代絕對廢止）旅行者間に好評を博してゐる。女中その他使用人への心付は宿料支拂額の一割乃至二割をやれば結構である。

○單獨宿泊料

洋式ホテル……鐵道總局直營ヤマトホテル及その他の洋式ホテルには何れも歐・米兩式があり、宿料は一人室一日凡そ金三圓以上、食事料は凡そ朝一圓五〇錢、晝二圓、晩二圓五〇錢である。

和式旅館……一泊二食付、凡そ一等六圓以上、二等五圓、三等四圓である。

○團體宿泊料

社線、國線兩沿線とも、それぞれ旅館協定團體宿泊料が定められてゐるが、社線沿線は關東州內と、州外即ち滿洲國內と、料金に多少の開きがあり、國線沿線でも土地によつて特種料金が定められてゐる。尚缺食の場合の宿泊料も協定されてゐる。

滿洲國內
社線沿線旅館協定團體宿泊料及食事料金

團體別＼料金		宿泊基本料金	食事料金 朝食	晝食	夕食	辨當	摘要
學生・生徒	小學校	一泊三食 一・三〇圓	・三五圓	・四五圓	・五五圓	・三〇圓	握飯
	中等學校	一・九〇	・五五	・六五	・九〇	・四〇	二重折
	專門學校以上	二・五〇	・七五	・八五	一・一〇	・四五	同
青年團		一泊二食 二・五〇圓	・七五圓	・八五圓	一・三五圓	・五五圓	同
教育軍人團（普通團員・軍人下士以下）		三・〇〇	・九〇	一・一〇	一・六〇	・七〇	同
普通團體		三・八〇以上	一・一〇以上	一・六〇以上	二・二〇以上	・八〇以上	同

關東州內

前記料金より約一割內外減となつてゐる。

國有鐵道沿線の宿泊料は大體前表料金と大差ないが、哈爾濱、齊々哈爾、吉林、圖們は特種料金として約二・三〇錢增となつてゐる。

○鐵道總局直營ホテル

大　連……大連ヤマトホテル、星ヶ浦ヤマトホテル
旅　順……旅順ヤマトホテル
奉　天……奉天ヤマトホテル
撫　順……筑紫館
新　京……新京ヤマトホテル
哈爾濱……哈爾濱ヤマトホテル
五龍背……五龍背溫泉
北　平……扶桑館
齊々哈爾……齊々哈爾鐵路ホテル
興　城……興城溫泉ホテル
壺盧島……壺盧島ホテル

○主要地著名旅館

大　連……遼東ホテル、花屋ホテル、天滿屋ホテル、ナニワホテル、春田旅館、東鄉旅館、東旅館、鎭西旅館、東洋ホテル、南滿ホテル、日本橋旅館、錦水ホテル、磐城ホテル、亞細亞ホテル、中央ホテル
旅　順……旅順ホテル、寳來館
大石橋……梅廼家旅館

撮影模寫禁止

左の場所は要塞地帶であるから寫眞の撮影及び模寫は要塞司令官の許可がない限り出來ないことになつてゐる。

大連及其附近、旅順及其附近、鴨綠江鐵橋兩橋臺附近、圖們鐵橋附近

尚特殊地帶（興安北省・黑河省・三江省蘿北・綏濱・同江・撫遠・饒河諸縣・濱江省虎林・密山・東寧・穆稜諸縣・間島省琿春縣）及航空機上からの撮影描寫は絕對禁止となつてゐるから注意を要する。（但必ず身分證明書を携行する事）

特殊地帶旅行者への注意

前記特殊地帶（國境地帶）を旅行する者は警察署の旅行許可書を要する。內地からの旅行者は最初の入滿地（例へば大連、安東、圖們等）警察署で、日程の都合では奉天、新京、哈爾濱其他特殊地帶外の都合のよい土地の警察署で旅行許可書の發給を受けることが出來る。

列車運轉時刻

滿鐵を初め、滿洲國內の各鐵道は一日廿四時間制を採用し時刻表もすべてこれに據つてゐる即ち十五時半發は午後三時半發となる。

主要鐵道線

線名	區間	粁
滿鐵社線		
連京線	大連—新京間	七〇一・四
安奉線	蘇家屯—安東間	二六〇・二
旅順線	周水子—旅順間	五〇・八
撫順線	渾河—撫順間	四八・二
營口線	大石橋—營口間	二三・四
滿洲國有線		
京圖線	新京—圖們間	五二八・〇
朝開線	朝陽川—開山屯間	五八・〇
奉吉線	奉天—吉林間	四四七・六
平梅線	四平街—梅河口間	一五〇・一
奉山線	奉天—山海關間	四一九・六
大鄭線	大虎山—鄭家屯間	三六六・二
溝北線	溝幇子—河北間	九一・一
錦承線	錦縣—承德間	四三六・〇
葉峰線	葉柏壽—赤峰間	一四七・一
平齊線	四平街—齊々哈爾間	五七一・四
白溫線	白城子—南興安間	三二一・六
齊北線	齊々哈爾—北安間	三三〇・四
訥河線	寧年—訥河間	八六・八
濱北線	三棵樹—北安間	三二六・一
拉濱線	濱江—拉法間	二七一・七
北黑線	北安—黑河間	三〇二・八
京白線	新京—白城子間	三二二・二
京濱線	新京—哈爾濱間	二四〇・二
濱洲線	哈爾濱—滿洲里間	九三四・八
濱綏線	哈爾濱—綏芬河間	五四六・四
圖佳線	圖們—林口間	三五八・七
虎林線	林口—密山間	一七〇・九
北鮮線		
西部線	南陽—清津間	一七〇・二
東部線	南陽—羅津間	一五九・二
假營業中線		
圖佳線	林口—佳木斯	二二一・五
虎林線	密山—虎林	一六〇・九
新義線	新立屯—海州	六三・〇

旅客運賃

線別＼距離・等級	一　等	二　等	三　等
滿鐵線・北鮮線（一粁ニ付）	四錢五厘	二錢八厘	一錢五厘五毛
國有線（一粁ニ付）	五分	三分	一分八厘

鐵道省線 教員學生	鐵道省線 普通	大阪商船 教員學生	大阪商船 普通	大連汽船 教員學生	大連汽船 普通	北日本汽船・日本海汽船 教員學生	北日本汽船・日本海汽船 普通
引率							
五・〇〇	三・〇〇	二・五〇	一・五〇	二・五〇	一・〇〇	二・五〇	一・五〇
五・〇〇	五・〇〇	二・五〇	三等一・五〇 二等二・〇〇	三・〇〇	一・五〇	二・五〇	三等一・五〇 二等二・〇〇
五・〇〇	五・〇〇	三・〇〇	三等二・五〇 二等二・〇〇	三・〇〇	一・五〇	三・〇〇	三等二・五〇 二等二・〇〇
五・〇〇	五・〇〇	三・〇〇	二・五〇	三・五〇	二・〇〇	三・〇〇	二・五〇
五・〇〇	五・〇〇	三・〇〇	二・五〇	三・五〇	二・〇〇	三・〇〇	二・五〇
五・〇〇	五・〇〇	三・〇〇	二・五〇	三・五〇	二・〇〇	三・〇〇	二・五〇

世話人無賃扱

本團體は二十人以上五十人未滿の團體にあつては內一人、五十人以上は五十人每に內一人を世話人として各鐵道（關釜間航路を含む）に限り無賃（滿鐵社線滿洲國有線及朝鮮線內は急行料金共）扱として便宜を計つてゐる。

旅費と日程

內地から鮮滿の周遊旅行をするには、旅費がどの位必要だらうかといへば、汽車汽船賃・旅館宿泊料・食事料・車馬賃（馬車又は電車使用）其他旅館に於ける心付を含めて一人一日當り凡そ左記金額を標準として計算すれば大差はない。

（一）單獨の場合
二等……二二圓——二三圓　三等……七圓——八圓

（二）團體の場合（二十人以上）
二等……一〇圓　三等……六圓　三等（學生）……四圓

滿鮮視察旅行日程一例

	日次	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
例一	視察地	下關發	釜山 京城	京城	平壤	撫順 奉天	奉天	旅順 大連	大連	大連	海上	海上	下關歸着		
	宿泊	船中	京城	車中	車中	奉天	車中	大連	大連	大連	船中	船中			
例二	視察地	下關發	釜山 京城	京城	平壤	撫順 奉天	奉天	哈爾濱	新京	新京	大連	旅順	海上	海上	下關歸着
	宿泊	船中	京城	車中	車中	奉天	車中	哈市	新京	車中	大連	大連	船中	船中	
例三	視察地	敦賀（新潟）發	海上	清津	圖們	吉林 新京	哈爾濱	哈爾濱	奉天	撫順	大連	旅順	京城	京城	下關歸着
	宿泊	船中	船中	清津	車中	新京	哈市	車中	奉天	車中	大連	車中	京城	車中	

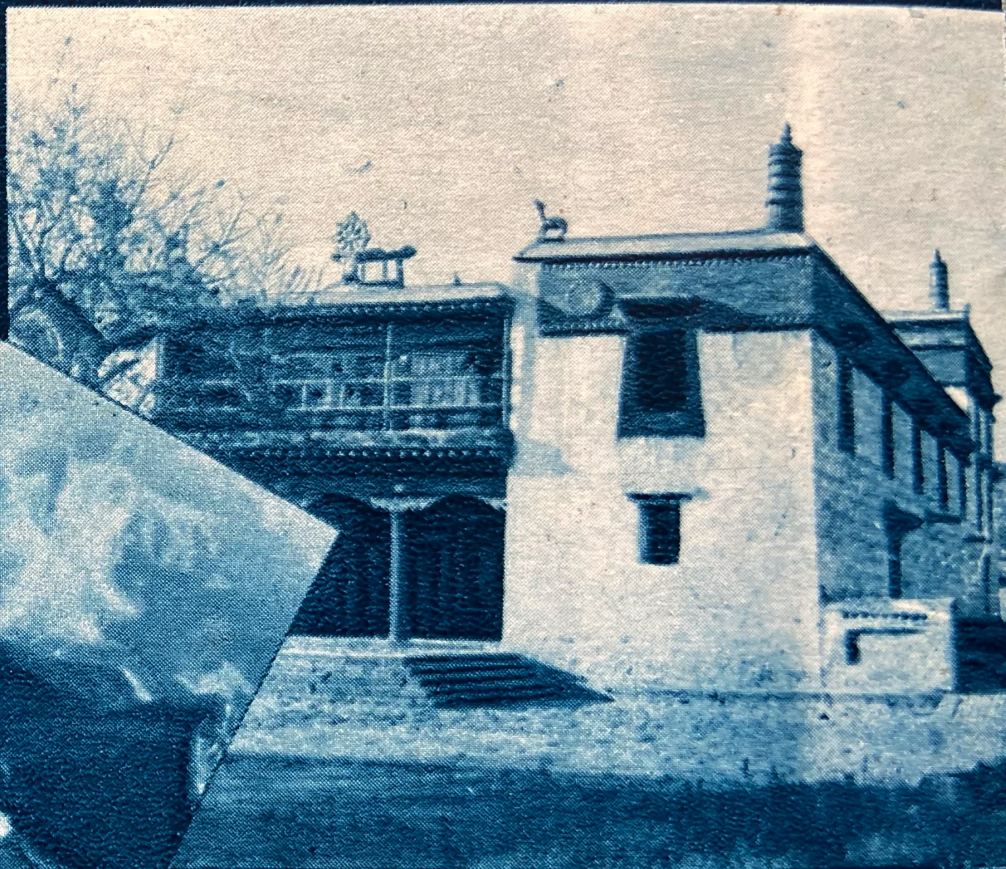
鮮滿旅行その他の事情に就ては左記の箇所を御利用下さい

◉奉天・滿鐵鐵道總局營業局旅客課
◉滿鐵鮮滿案內所
門司市西海岸通稅關前　下關市驛前
大阪市東區堺筋安土町　東京市丸ビル一階　東京虎ノ門滿鐵ビル
◉ジヤパンツーリストビユーロー 日本旅行協會各地案內所

一二年三月（鐵道總局旅客課）四五萬
大阪　坂井印刷所納

満洲事変以来にはかに知られた錦縣は、秘境熱河への門戸

奉天東陵は北陵と共に清朝の陵墓、老松生茂る丘上に立ち、前に渾河の流を望み、石獣まもる苑内は松籟いやが上にも寂としてゐる

山海關を東端として、蜿々山谷を縫ふ萬里の長城の偉觀は、筆紙のよく盡すところではない

一人出家して九族天に生ずると謂ふラマ教、葛根廟は約一千の僧侶を擁する大寺廟

望上慰安
院も鐘の
と響き旅

吉林は北滿の京都。娘々祭で名高い北山は街の展望臺、S字に曲流する松花江の風光美、江上に舟を浮べて韻詞に興ずるも愉し

承德は熱河離宮、喇嘛廟など豪壯華麗の大建物陣を配して風光雄大、一大繪卷をなす。世界ツーリスト、ポイントとして、華やかに世界の舞臺に登場した

○ 北滿の巴里・哈爾濱の夜はキヤバレーに異國情緒の花を咲かす

○ 落魄のエミグラントへ希望と慰安をおくる哈爾濱の古き寺院の鐘の音は、旅人の胸にも切々と響き旅の想出となる